

独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター

山下設計

NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION

SHIKOKU MEDICAL CENTER FOR CHILDREN AND ADULTS

Yamashita Sekkei

- ・ Merging project of a children's hospital and a general hospital.
- ・ Common functions are shared to provide high-function facilities at a lower cost.
- ・ Continuous art projects connect the hospital with the community.



三浦敬明

Related Information

Location : Zentsuji, Kagawa. Architect : Yamashita Sekkei.
Number of beds : 689. Site area : 56,325 m². Total floor area : 55,677 m². Structure : Reinforced concrete (partly steel frame) ; Seismic isolation : one basement and seven stories. Completion : March 2014



東側外観 View from east

□ 建築計画

1. プロジェクトの設計テーマ

本プロジェクトは国立病院機構の二つの病院の統合である。一つは四国4県を圏域として高度な成育医療を提供してきた500床の「香川小児病院」、もう一方は中讃保健医療圏を中心にながく地域医療を担ってきた251床の急性期病院「善通寺病院」である。成育医療と成人医療、各々を担う二病院の統合で、人の誕生から看取りまで高度で多様な医療を提供することができる全国でも数少ないタイプの病院となった。

統合化の目的の一つに病院経営の合理化があり、そのため建築計画においてはイニシャルコストの縮減が必須条件となった。一方、本院が提供しようとする高度な医療には、相応の施設機能やスペースが必要であり、コスト縮減と施設機能の高度化をどう両立させるかが設計の大きな目標となった。そこで私たちは、二病院統合の意義を最大限に引き出す施設づくりとして、「成育医療と成人医療、双方の独立性の確保と連携の促進」、「成育医療と成人医療、各々の機能を最大化するための明快な空間ゾーニング」の2つをテーマに設計を進めることとした。

2. 共用機能と非共用機能の整理及びその建築計画への反映

計画にあたっては、病院を構成する「外来・診療・病棟・管理・供給」の5つの機能に着目し、各々の二病院間における関連性を整理することから始めた。その結果、成育医療と成人医療との共用に問題の少ない「診療・供給・管理」の3つの機能は、成育・成人双方の共用エリアとして施設

の中心に据えることとした。

一方、患者特性の違いや診療システムの違い、さらに最も配慮すべき感染管理上の問題から共用すべきではないと考えた「外来・病棟」の2つの機能は、原則として成育エリアと成人エリアを各々まとめ、前述の共用機能（診療・供給・管理）の両側に分離して配置することとした。

「外来」では成育と成人双方に専用の車寄せ、エントランスホール、総合受付カウンターを設けて各々の独立性を高めるとともに、「外来」に関係する検査や画像診断、医事等は成育エリアと成人エリアの間に配置して一部共用化を図るなど、各々が独立しながらも連携の促進を図ることができるような部門配置を行い、運用の効率化に加え施設全体面積の合理化を図った。

感染管理を最も重視する「病棟」においては、成育病棟を南側の1～5階に、成人病棟を北側の6、7階に配置し、平面的にも断面的にも分離することを徹底した。

尚、見守りを重視すべき成育病棟では、コの字型に配置した病室群の中央に、スタッフステーションはもちろん、私たちが「広場型プレイルーム」と呼ぶ日中の病室以外の患児のためのスペースを置き、すべての患児を、どの場所からでも、どの時間帯であっても見守ることが出来る病棟づくりを目指した。

3. スタッフ間コミュニケーションを高める工夫

成育と成人、双方の医療を提供する本院では、一般病院と比べて多種多様なスタッフが共働している。そのためスタッフ間のコミュニケーションは重要であり、職種間の垣



成育エントランスホール Entrance hall for children



成人エントランスホール Entrance hall for adults

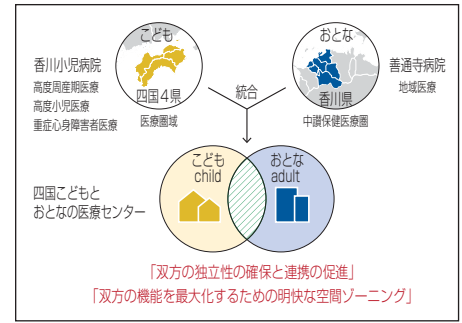


図1 2病院統合のための設計テーマ



アプローチ Approach

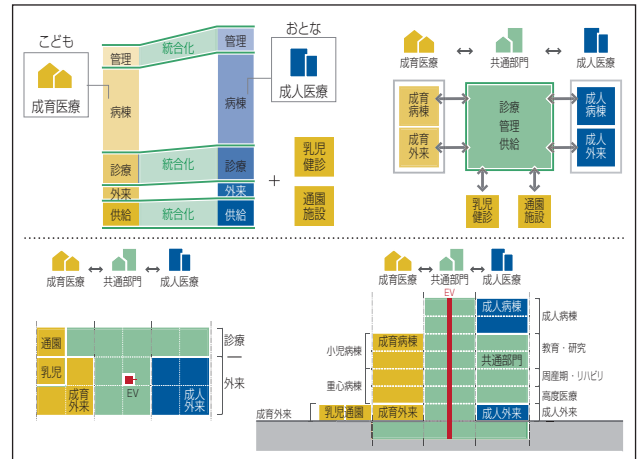


図2 5機能の分析による部門構成（左下：平面構成、右下：断面構成）

根を取り除くような空間づくりを行った。とくに5階では、打合せや調べ物、休憩や食事など、職種を問わず多目的に利用することができるスタッフラウンジを中心に、医局と管理者の諸室を放射状に配置したレイアウトにより、スタッフ間のコミュニケーションが自然に育まれる環境づくりを行った。

4. 建築設計とアートディレクションの協働

本院の大きな特徴の一つにホスピタルアートがある。設計の初期段階からの、建築設計者とアートディレクターとの効果的な協働が本プロジェクトを成功に導く重要な要素であったのは事実であり、結果、本院は、我が国のこれからのホスピタルアートを考える上で一つのメルクマールになったと考えている。

□ ホスピタルアート

1. ホスピタルアートの役割から考えるデザイン

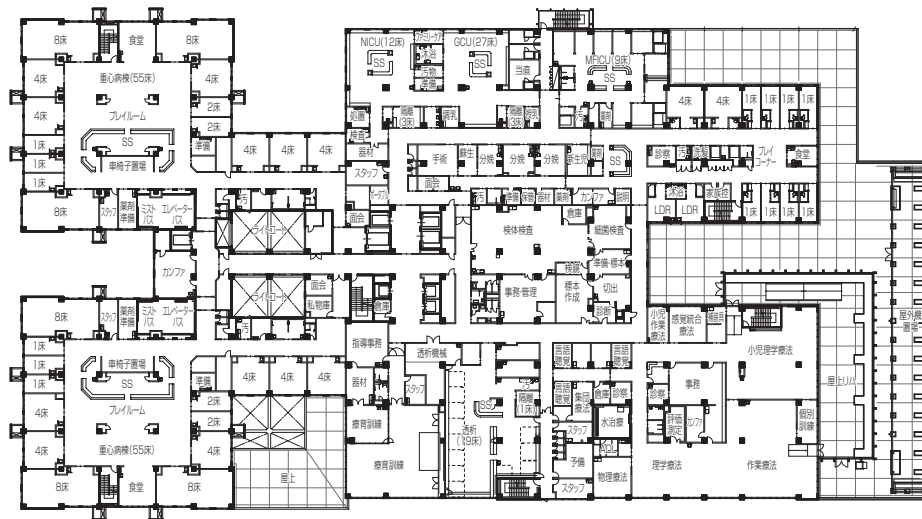
「ホスピタルアート」とはアートを媒介にして病院内に創造的な問題解決の場を作るということ。患者や医療従事者との対話の中から解決の糸口を見つけ出し、ものづくりの専門家と共に地域住民を巻き込みながら病院そのものを創造してゆこうとする取り組みのことである。

当院のアート活動の目的には大きく三つの側面がある。一つは「病院理念の顕在化及び広報の充実」病院の想いを可視化し、外部に対してその方向性をわかりやすく伝えること。病院のシンボルマークもアートのひとつであり、そのデザインは、院内の書類、パンフレット、職員の制服などに活用されている。二つ目に「医療安全の視点を取り入

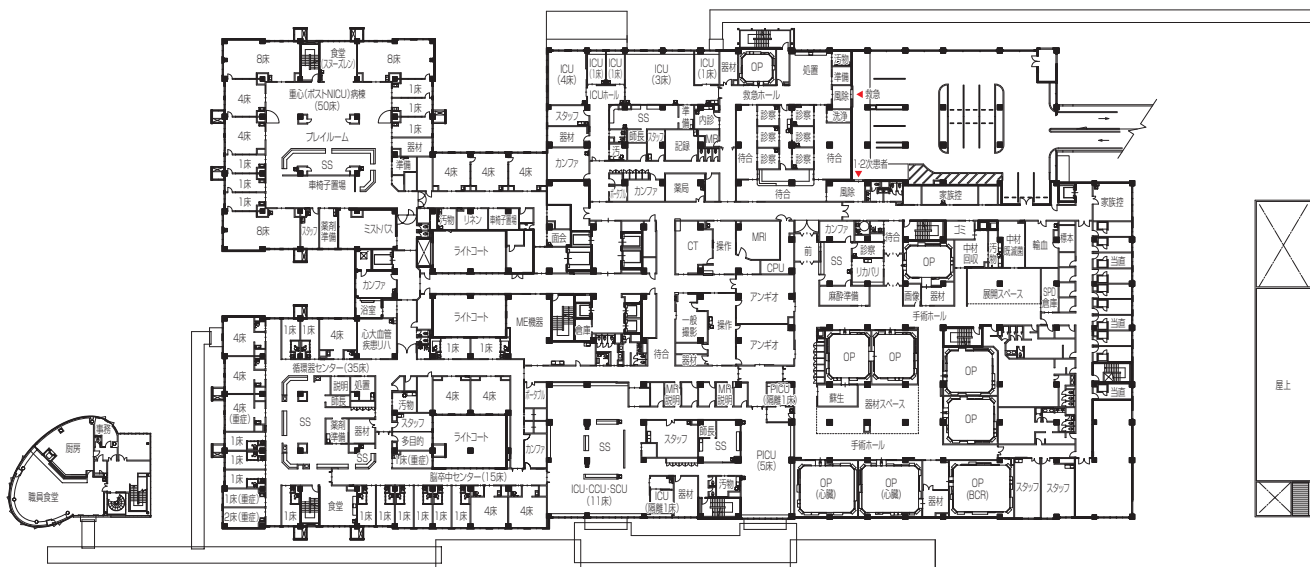
れたものづくりによる医療の質向上」現場スタッフがスムーズに業務しやすい環境を目指し、サインの改善やデザイン提案を行う。三つ目に「地域連携による社会包摂」アートを通じたボランティア活動の実施、近隣福祉施設との協働プロジェクトを導入することで、住民や、高齢者、障害者の声を聞き上げながら、地域と共に育つ開かれた病院の在り方を模索することである。それら三つの側面がやわらかに交わり合い、立ち上がってくる空間に身を置く時、それぞれの胸の内にそっと沸き上がってくるもの、それこそが「癒し」であると考えている。

2. 竣工後も継続するアートディレクション

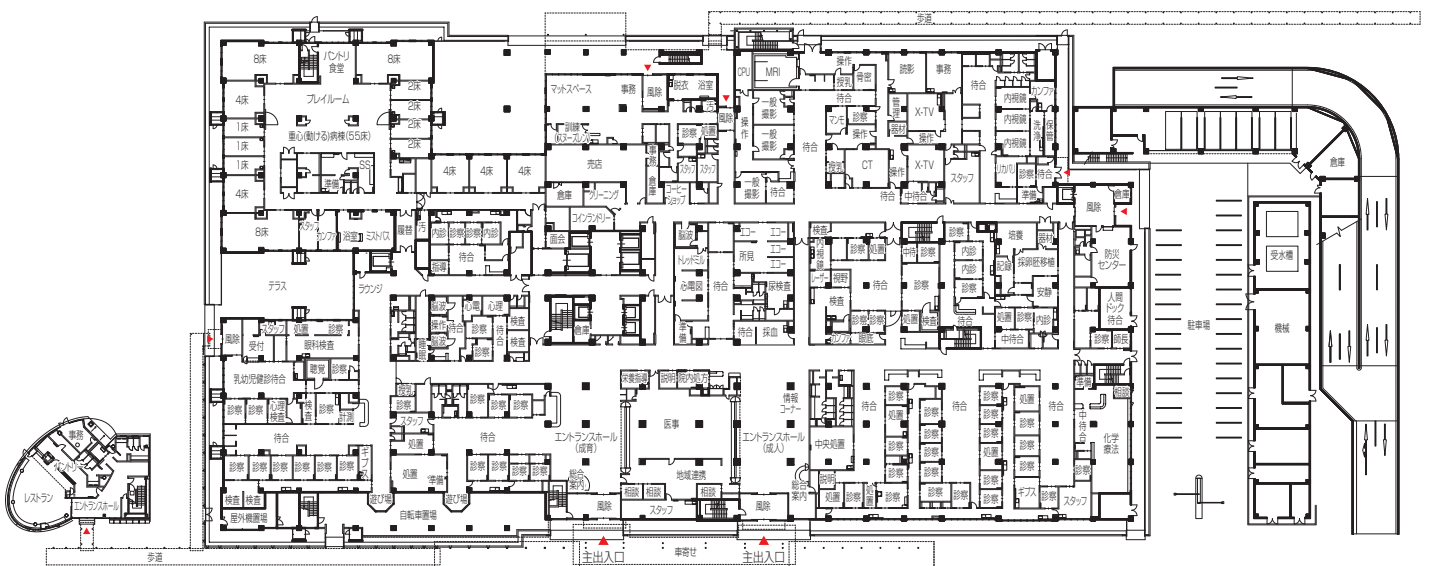
アートを建築に落とし込むためには、アートディレクター・作家・設計者・施工者との間での綿密な調整（アートディレクション）が必要であった。色づかい、サイズ、材料の選定、サインとの連携、法規制との整合などを確実にコントロールし、アートと建築とを融合させたホスピタルアートを実現した。こうして建設時に一度は完成したデザインであるが、開院後数年を経た現在においても継続的なアートディレクションによって余白を埋めるようにアートが増え続けている。建設時のコンセプトをもとに、臨床現場に起こってくる問題に対しスタッフが知恵を絞り出し、次のデザインへと昇華させている。スタッフが愛着を持って働くことができる、患者一人一人に寄り添うサービスを模索し続ける、いきいきとした病院に成長している。（山下設計／藤田衛、三浦敬明 四国こどもとおとなの医療センター／森合音）



3F PLAN

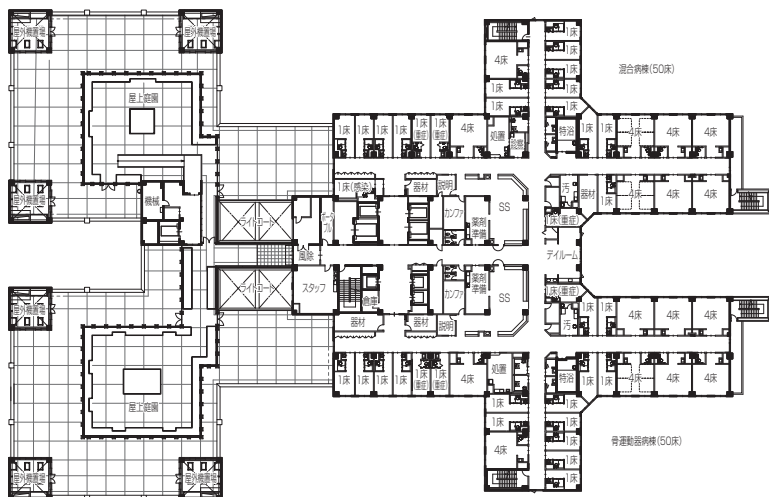


2F PLAN



1F PLAN

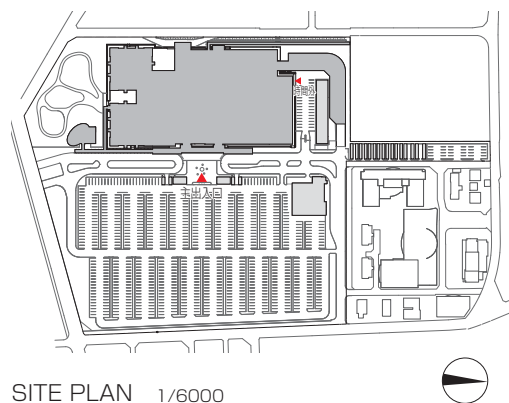
0 10 20M 1/1200



6F PLAN



5F PLAN



名称	四国こどもとおとなの医療センター
所在地	香川県善通寺市仙遊町 2-1-1
建築主	独立行政法人国立病院機構
設計監理	(株)山下設計
施工	建築／大成建設(株)
病床数	689 床
敷地面積	56,325 m ²
建築面積	12,885 m ²
延床面積	55,677 m ²
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 (免震構造)
階数	地下1階 地上7階
工期	2011年4月～2014年3月

設備概要	
空調設備	熱源／冷温水発生機 + 空冷チラー 方式／外調機 + FCU (一部直影コイル付 FCU, 空冷パッケージ)
衛生設備	給水／加圧給水方式 (上水, 雑用水, 冷却塔補給水, 加湿補給水の4系統) 給湯／中央給湯方式 (ヒートポンプ給湯機 + 温水ヒーター)
電気設備	排水／屋内合流方式, 屋外分流方式 受電／2回線受電 (本線・予備線) 変圧器容量／11,450kVA 予備電源／非常用発電機 2,000kVA
搬送設備	エレベーター／一般乗用5台, 寝台用3台 他
写真撮影	(株)川澄・小林研二写真事務所

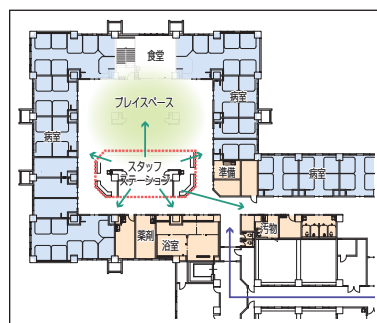


図3 広場型プレイルームを中心とした成育病棟



プレイスペース Play space



成育病棟個室 Pediatrics ward single bed room



壁面ニッチ Niche in wall



ボランティアギフト

